



七夕飾りをつくる、参加者の小学生とボランティアの方々



地域活動を通じて 魅力的な「まちづくり」を ～地域子ども居場所 見沼わくわく広場～

NPO法人 さいたまスポーツクラブ

「初めのうちは、子ども達もなかなかなじめないですよ」。当日の子ども達の様子からは想像できないような声が聞かれました。最近は一人で遊ぶことは上手でも、友達を作ることには慣れていない子どもも多いそうです。しかし、数ヶ月程で子ども達に変化が表れ、活動日以外でも自然と集まって

遊びようになるそうです。また、「見沼わくわく広場」では、子ども同士だけではなく、年の離れた大人とも交流することができ点が魅力です。「ほら、ちゃんとご挨拶しなさい」ボランティアの方が、子ども達をごく自然に注意しています。近所の大人たちがほめたり叱ったりして地域みんな子どもを育てていく。「見沼わくわく広場」では、最近では見られなくなつたそんな地域ぐるみの子育てが行われているようでした。

近頃は核家族化が進行し、多世代間のつながり、地域のつながりが薄くなつてきているといわれていますが、このような活動が全国に広がれば、少しずつ地域のあり方や人々の関係が変化してくるかもしれません。

活動を高め、社会性、創造性、自立性を育てていくことです。活動は週2回放課後に行われ、ボランティアの方の学習支援により、みんなで宿題をすることで始まります。宿題が終わったら、けん玉などの昔ながらの遊びや、スポーツなどの活動を行います。他にも日舞教室やサッカー教室、土・日曜日には、デイキャンプや農業体験などのイベント活動も開催されます。



連絡先

NPO法人 さいたまスポーツクラブ

▼ ホームページ

<http://homepage2.nifty.com/ssc-minuma/>
「見沼わくわく広場」実行委員会
(さいたまスポーツクラブ内)

- ▼ 事務局住所 さいたま市見沼区 大和田町 2-1322-2
- ▼ 電話 048-689-9235
- ▼ 携帯電話 090-1738-8525
- ▼ FAX 048-689-9236

(2007年7月6日 取材)

広告スペース